



Japan Design Space Association

DSAデザインセミナー

空間とグラフィックデザイン

色部義昭 Yoshiaki Irobe グラフィックデザイナー/アートディレクター

2014.6.24 |火|17:00 - 18:00 参加料1,000円・先着順100名

会場 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター(東京ミッドタウン・デザインハブ内)

主催 DSA 一般社団法人 日本空間デザイン協会 www.dsa.or.jp

お申し込み・問合せ DSA協会に email でお申し込みください。 dsa@dsa.or.jp



年鑑日本の空間デザイン 2014・2011

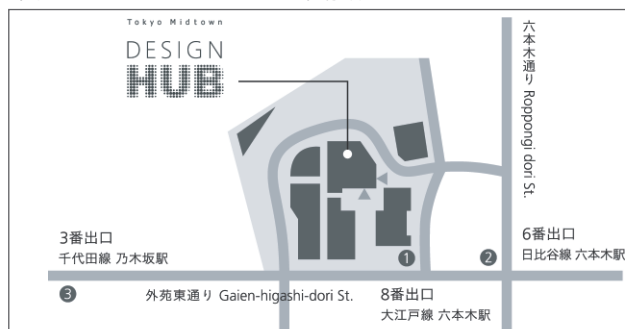


市原湖畔美術館サイン計画

グラフィックの領域は、空間領域と共生しながら果たす役割も大きく変容し進化し続けています。領域は平面から空間・映像と拡がりデザインの職域も変化しています。「年鑑日本の空間デザイン」のブックデザインを手がけられているグラフィックデザイナー色部義昭氏に登壇いただき、進化し続けるグラフィックの領域について語っていただきます。色部氏は、グラフィックデザインの中に時間軸を取り入れ、情報を視覚化するデザインをされています。「グラフィックの空間～空間を編集するグラフィック」について、「ONE SHOW」で金賞受賞の「市原湖畔美術館」のアイデンティティデザインを中心にお話を伺います。空間を体験し圧倒的に残る感動の素を探ります。

■色部義昭プロフィール 1974年千葉県生まれ。東京藝術大学大学院修士課程修了後、日本デザインセンター入社、原デザイン研究所などでの勤務を経て、11年より色部デザイン研究室を開設。東京藝術大学非常勤講師。主な仕事に市原湖畔美術館のVIとサイン計画、銀座地区サイン実証実験。「マーク・ロスコ」展や「TAKEO PAPER SHOW 2011一本」の展覧会アートディレクションなどグラフィックデザインをベースに幅広くデザインを展開。SDA最優秀賞、JAGDA新人賞、JAGDA賞、東京ADC賞、D&AD銀賞、ONE SHOW DESIGN金賞・銀賞など国内外のデザイン賞を多数受賞。「年鑑日本の空間デザイン」11年版のデザインに続き、さらに14年から3年間のデザインを担当。

東京ミッドタウン・デザインハブ 港区赤坂9-7-1ミッドタウン・タワー5F



一般社団法人 日本空間デザイン協会 [旧社団法人日本ディスプレイデザイン協会] www.dsa.or.jp

〒107-0051 東京都港区元赤坂 1-1-7 赤坂モートサイドビル4F-B Tel.03-6721-1981 Fax.03-6721-1980 dsa@dsa.or.jp